

中学校第1回入試を終えて

1月12日(日)、中学校の第1回入学試験を無事終了することができました。特待入試に続き、第1回入試も昨年度同様の受験生をお迎えすることができました。ありがとうございました。

大変寒い中、受験生であるご子息のため大勢の保護者の皆様がお見えになりました。毎年のこととは言いながらも、こうした姿に保護者の皆様のご子息への愛情と教育への熱意を目の当たりにし、教職員一同身の引き締まるものを感じました。また、早朝より受験生の応援のために駆けつけて下さった塾の先生方には、本当に頭の下がる思いをいたしました。大変多くの受験生をお迎えできたことは、これからの城北埼玉へのご期待と受け止め、そのご期待に応えることができる学校へ更なる成長を遂げたいと感じております。

さて、第1回入学試験では厳正な合否判定の結果579名の実受験者のうち、451名の合格者を決定し、このうち98名を特待生合格(選抜クラス)、選抜合格128名(選抜クラス)とさせて頂きました。入試結果に関する詳細は本校ホームページ上で掲載させて頂いております。加えて各教科主任からの講評も記載しております。受験生の皆様のお役に立てて頂ければ幸いです。

今回十分な力を発揮できなかった受験生の皆さん、次のチャンスで力を発揮して下さい。入試に限らず、最も大切なことは「心と体」です。強い信念を持ち、体調を整えて挑めばリベンジは目前です!そんな強い受験生を心待ちにしております。

能力は無限、時間は有限
学力は試験当日まで伸びる!
粘れ! 輝け! 受験生!!

城北埼玉中学・高等学校

校長

森泉秀雄

国語 講評

漢字の読み書きと長文が二題という、例年通りの出題でした。90点以上の答案もたくさんありとても嬉しく思います。

一 漢字の読み書き

漢字の書き取り問題では、1の「シュウトク物」の「拾」の誤字が目立ちました（「習」「捨」「修」など）。もし時間があれば、「拾得」だけでなく同音異義語に関してもう一度確認しておいてもいいでしょう。

二 「セキセイインコのぴーちゃん」（短編集「しっぽちゃん」より）

出典作品名はとてもかわいいのですが、詞書きにもあるように、定年退職後の夫婦のささやかな日常を繊細に描いた作品であり、受験生のみなさんの中には難しく感じた人もいたと思います。そしてそのような作品だからこそ、一つ一つの言葉を丁寧に読み取りながら、自分とは違う人の気持ちを「想像する力」を求めました。

○問10に関して解説します。

ゴロウとエイコはもちろん人間ですので、「～人（にん）」と数えることに不自然さはありません。ところが、ぴーちゃんはセキセイインコ（＝鳥）ですので、本来ならば「～人」ではなく、「～羽（わ）」と数えるはずですが、そんな二人と一羽をあわせて「三人」とあえて作者が表現しているのは、ゴロウとエイコがぴーちゃんを「鳥ではなく人間扱いしている、家族同然の扱いをしている」ということです。そしてそれが解答のキーワードとなるはずですが。

三 「ものづくりに生きる」

○問10に関して解説します。

まず、1ではニンベンをつけてみたいと考える文字を記す問題でした。これに関しては、受験生の自由な発想を期待して出題しました。「業」「考」「介」「明」など実際にあった解答として感心したものがいくつもありました。

2の問題では、1で答えた文字にニンベンを付けた理由を分かりやすく説明できたかどうかを採点の基準としました。とても深く考えられた解答も多くありました。問10のように思考力を問う問題は、ここ数年でとても増えています。

○試験はまだ続きます。皆さんの力が存分に発揮されることを心からお祈りしています。そのためには、何よりも健康に留意して元気にこの受験期を乗り切ってください。応援しています。

算数 講評

1 大問1の出題傾向は例年通りでした。全体的にはよくできていたと思いますが、(4)は低い正答率でした。

(4)は(ア)−(イ)＝「半径3cmの半円」−「中心角(ウ)で半径6cmの扇形」に等しくなることを考えます。

2 (1)円周率とは何かを言葉で答える問題でした。普段「3.14」という数字で馴染みがあるものですが、それが何なのかを改めて問われると難しかったことでしょう。「直径に対する円周の割合」を模範解答としましたが、

正答にできなかったものでも、直径と円周の関係に触れている解答などのいくつかには部分点を付けました。

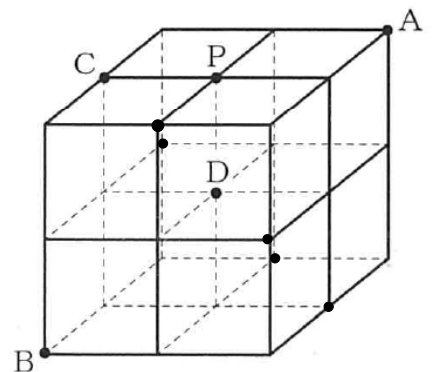
3 流水算と同じように、列の速さに対して、先頭の選手が3倍のペースで走るの、停止した列に対して先頭の選手のペースを2倍として考えればよいでしょう。

4 (1)の2秒後に続き、3秒後の図形も描き、数えてみることで増え方の法則を考えたい問題です。(2)では残念なことに4秒後の図形が図としては5個目となるため、5秒後ではなく4秒後の図形について解答してしまった受験生が非常に多かったようです。そのために、(3)も正答率は大変低いものになってしまいました。(2)が正当だった受験生にとっても(3)は立式、計算に手間がかかるので難しかったようです。ここにこだわり過ぎた場合、大問5にける時間が無くなってしまったことでしょう。

5 (1) A→Cの移動の方法とC→Bの移動の方法は同じ数だけあり3通りです。A→Cの3通りそれぞれに対して、C→Bが3通りずつ考えられるのでA→C→Bの移動の総数は9通りです。

(2) (1)と同様に、A→Dの移動の方法、D→Bの移動の方法の総数を考えればよいでしょう。

(3) 図のQ～Uを通りBへ移動する方法はそれぞれ(1)と同じ数ずつあります。また、C、Q～Uを通るときDを通ることはありません。



第2回はこれまでと問題の傾向は変わりません。引き続き本校を受験する受験生の方は次のことを意識して受験してみてください。

- ・ 1 は基本問題なので確実に解くようにしましょう。とくに計算は丁寧に。
- ・ 2 以降は順番通りでなく、できそうな問題から取り組むようにしましょう。
- ・ 過去問を利用して時間配分の練習もおきましょう。

数学科 池上雅史

社会 講評

1 回目は恒例の 3 分野融合問題でした。テーマは「税制度から日本の歴史を読み解く」でした。採点しているのアドバイスは以下の通りです。

問 1 の (1)、こちらが設定した正解は「安倍晋三」でした。しかしながら採点してみると「安倍」という解答が多かったこと、さらに新聞やニュースなどでは「安倍内閣」という表現が用いられていることもあったことを考慮し、今回の入学試験においては「安倍晋三」「安倍」ともに正解としました。ただ、これまでの本校の入試では人名はフル・ネーム（氏名・姓名）で答えることを受験生諸君に求めてきました。次回（今年度の第二回中学入試）からは従来通りとしますので、人名に関する問題を解答する際には注意してください。

問 7・下線部⑥は「中国の歴史書」でした。問題文意から、弥生時代～古墳時代の日本列島について考えてもらう出題でしたので「イ」が誤文となります。『魏志』倭人伝には「汝を以て親魏倭王と為し、金印紫綬を仮し・・・」と記され、卑弥呼が与えられた金印に「親魏倭王の刻印があった」とは断言されていません。

問 17「徳川慶喜」の「慶」が正確に記述できない、もしくは「喜慶」と誤記した受験生が多く見られました。また 問 20「伊達政宗」の誤記も多かったと感じます。得点できるよう、よく出題される歴史上の人物名を選んだのですが残念な結果になりました。

本校入試の問題数は毎回ほぼ同じとなっています。後半になると集中力がとぎれてしまい、記載文字が粗雑になる傾向が見られます。過去問題を練習題材に 30 分間、集中力・注意力が持続するよう意識しましょう。

「消費税の増税」は今年度入試の流行テーマですから、丁寧に学習しなおしておきましょう。今年度の流行といえば「ラグビーのワールドカップ」や「改元」ですよね。地理分野だと国名と関連事項を、歴史分野では元号（年号）が用いられていることがらについてもしっかり学習してください。

社会科 高橋寿拓

理科 講評

1 物体の運動に関する問題でした。冒頭の問いに登場する振り子の周期の関係を見抜き、ボウル内を運動するおもりの運動に対応させて考えることがポイントでした。また、その後の問いでは、ボウルの形状や摩擦がないということから、運動の対称性に気が付くことが重要でした。運動の対称性に関しては、まさに振り子の性質につながるところでもあり、運動を関連付けて考えることが必要だったと思います。現象を関連付けるのは、1つの現象を異なる視点から見るという意味でも大切な考え方なので、ぜひ身に付けて欲しいと思います。

2 空気の密度を実験により測定する問題でした。

全体的にととてもよくできていました。

問1は空気の密度を求める実験操作の出題でした。密度を求めるためには重さ(g)と体積(L)が必要ですが、それぞれの値を求めるための正しい操作を出題しました。また、問5のメスシリンダー内の体積の読み方も基本的なものです。しっかり確認してください。

問2、3は、気体の捕集方法と性質の出題。大変よくできていました。

問4は水上置換法で捕集する気体を選ぶ問題でした。気体の問題ではよく出題される内容です。酸素、アンモニア、水素、塩化水素、窒素、二酸化炭素など、よく出題される気体については、製法、捕集方法、性質などをまとめておくとよいでしょう。

問6では気体の密度を計算してもらいました。気体の密度の単位(g/L)をよく見れば、 $g \div L$ だとわかります。250cm³をLに直さなかった人。小数第一位までという注意点を忘れていた人がいました。しっかり確認してください。

気体の性質については、よく出題される分野です。この機会にしっかり復習しておいてください。

3 植物の光合成に関する実験の問題でした。実験の操作とその理由、さらに実験の結果からいえることを答えてもらいました。各問題ともよくできていました。受験生の皆さんが、この分野に関しては十分に学習を重ねていることがよく解りました。また、後半のグラフからいえることを問う問題も正答率が高く、グラフに関しても皆さんがよく理解していることが解りました。今後も気を抜かずに努力を続けてください。

4 は水の循環に関する問題でした。地球上にいる人間が利用しやすい水は、とても少ないことに気づいて欲しいと思います。また、水は水蒸気や水滴に姿を変えながら地球上を循環しており、そのもとになっているのが太陽エネルギーです。現在、マイクロプラスチックの問題がニュースでも取り上げられています。少しでもプラスチックを減らすように取り組んでいる企業が増えてきています。受験生の皆さんもできることからでかまいませんので、水の惑星である地球を守っていきましょう。

理科 中野 雄一